

講義科目名称： 公衆衛生看護技術論

授業コード： 2230400100

英文科目名称： Public Health Nursing Skills

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	看護師課程自由選択、保健師課程必修
担当教員			
高林知佳子、◎野口裕子、前川絵里子、久保野裕子			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 後期</p> <p>【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <table border="0"> <tr> <td>【氏名】</td> <td>【研究室】</td> <td>【メールアドレス】</td> </tr> <tr> <td>高林 知佳子</td> <td>304</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎野口 裕子</td> <td>209</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前川 絵里子</td> <td>307</td> <td></td> </tr> <tr> <td>久保野 裕子</td> <td>共同研究室2</td> <td></td> </tr> </table> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程・保健師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ◎ ○</p>	【氏名】	【研究室】	【メールアドレス】	高林 知佳子	304		◎野口 裕子	209		前川 絵里子	307		久保野 裕子	共同研究室2	
【氏名】	【研究室】	【メールアドレス】														
高林 知佳子	304															
◎野口 裕子	209															
前川 絵里子	307															
久保野 裕子	共同研究室2															

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生看護活動の展開における地域診断、公衆衛生看護活動計画立案、評価の方法を理解する。 2. 地域を構成する個人・家族への公衆衛生看護活動の方法と、家庭訪問・健康教育の技術を理解する。 3. 地域組織の育成・支援の目的と方法について理解する。 4. 地域ケアシステムの発展過程とネットワークの形成を理解する。
------	---

授業概要	<p>地域・在宅看護学論Ⅰ、公衆衛生看護学概論で学んだ内容を基礎として、地域を構成する人々が主体的に問題を解決できるよう、地域特性をふまえた支援方法と公衆衛生看護技術について理解できるように構成する。地域集団を対象に展開する地域診断、公衆衛生看護活動の方法及び、地域で生活する個人・家族を対象とした個別援助の方法と技術について学ぶ。</p>
------	--

授業計画	<p>1-2 授業内容 授業形態：講義・演習 学習課題：公衆衛生看護活動の展開における地域診断の方法を理解する 学習内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域診断の目的 2. 地域診断の進め方 3. コミュニティ・アセスメント・パートナーモデルを用いて地域診断を行い、健康課題・健康ニーズの抽出を行う 備考：野口</p> <p>3-4 授業内容 授業形態：講義・演習 学習課題：家庭訪問の援助方法を理解する。 学習内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭訪問の目的・対象・方法と保健施策との関連 2. 家庭訪問における情報収集、アセスメント、訪問計画の立案 3. 家庭訪問の展開方法、記録 備考：前川</p> <p>5 授業形態：講義 学習課題：施策化の目的と地域ケアシステムの発展過程を理解する 事業化の目的と展開方法を理解する 学習内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 施策化の目的と地域ケアシステムの発展過程、ネットワーク形成 2. 事業化の目的と展開方法、評価 3. 公衆衛生看護活動計画立案の基本的手順 備考：高林</p> <p>6 授業形態：講義・演習 学習課題：健康教育の方法を理解する。 健康教育の展開過程の実際を学ぶ。</p>
------	--

	<p>学習内容： 1. 健康教育の目的・対象、方法 2. 地域の健康特性と健康診査事業の立案 3. 参加対象と参加勧奨 4. 健康教育の準備・実践・評価、事後フォローアップ</p> <p>備考：久保野</p> <p>7-8</p> <p>授業形態：講義・演習 学習課題：地区活動の方法を理解し、公衆衛生看護活動計画を立案する。 地域組織活動を理解する</p> <p>学習内容： 1. 地区活動の概念、方法論、展開 2. 地域組織の育成・支援の目的と方法 3. 公衆衛生看護活動計画を立案する</p> <p>備考：野口</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：学習課題に関連するテキストの指定範囲を熟読し、重要な用語についてノートにまとめる。 事後学習：講義内容を整理し、課題を作成する。</p>
評価方法、評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験60点+課題40点（地域診断10点、家庭訪問10点、健康教育10点、公衆衛生看護活動計画10点）として評価する。 ・ただし、課題の提出状況が悪い場合は、最大10点をめどに減点する。 ・試験を受けるには、2/3以上の出席が必要（20分以上の遅刻は欠席とみなす）。 ・試験実施日については、最初の講義時に説明する。
必携図書	標準保健師講座 公衆衛生看護技術（医学書院）
参考図書・資料等	<p>標準保健師講座 公衆衛生看護学概論 第6版（医学書院） 公衆衛生看護学第3版(2021), 中央法規 公衆衛生看護学テキスト2「公衆衛生看護技術」（医歯薬出版株式会社）</p>
受講、課題、資料配布等のルール	必要時、指示する。
教員からのメッセージ	地域・在宅看護論Ⅰ、公衆衛生看護学概論で学んだ内容を基礎とするので、復習して授業に臨んでください。授業は双方向で行い、学生とディスカッションしながら展開していきますので、積極的な受講態度を期待します。
オフィスアワー	